

特集 読書の秋

- 第2回公開講座
- 日本語に関する取り組み
- 地域探訪 くらしき&おかやま⑤
- 海外ボランティア/学内情報ネットワーク
- 安全パトロール隊/創立40周年記念講演案内
- 川崎学園祭/川崎エコプロジェクト/新任職員紹介
中庄学区ソフトボール大会優勝
- インフォメーション

読書の秋



特集

読書の秋

図書館紹介とおすすめ書籍

厳しい夏も終わり、いよいよ秋到来です。様々な秋の楽しみ方がありますが、学生らしく「読書の秋」を迎えてみてはいかがでしょうか。今回は、本学の読書スポット「図書館」の特集です。併せて、教職員によるおすすめ書籍もピックアップします。



川崎医療短期大学・図書館の概要

図書館は校舎棟の1階にあり、授業の休み時間にも立ち寄れて非常に便利です。平成25年3月末現在の蔵書数は86,112冊で、内訳は図書72,382冊、雑誌13,730冊です。購読雑誌は202誌です。寄贈誌も多数あるほか、ブラウジングコーナーには勉強の合間の気分転換になる新聞や雑誌、学生生活に役立つ情報誌も配架されています。

開館時間は平日8：30～19：45、土曜日8：30～15：30です。開館時間の変更や臨時休館は掲示板等でお知らせ

しています。

平成24年度の1日の平均入館者数は258人でした。試験前には入館者が500人を超える日もあります。

学生1人あたりの1年間の貸出冊数は、昨年度は9.3冊でした。授業や実習関連の貸出が主ですが、学生のうちにこそ、いろいろな分野の本を手にとっていただければと思います。





■ 図書館のおすすめポイント

蔵書検索システムであるOPACは一般公開されており、インターネットを介して学外からも利用できます。利用したい資料が本学・川崎医科大学・川崎医療福祉大学に所蔵されているか、貸出中かどうかの確認ができます。

図書館ポータルサイトである「マイライブラリ」を利用すれば、借りている本の貸出期間の延長や貸出中の本の予約が自宅からでもできます。学外での実習期間などに活用してください。そのほか、図書の購入依頼、資料の館外複写依頼、自分が借りた資料の履歴を確認できます。

図書館内のおすすめポイントは、マルチメディアコーナーと絵本コーナーです。マルチメディアコーナーには、パソコン（2台）とプリンターがあります。インターネットで何か調べたいとき、授業のレポートを作成したいときなどに利用してください。絵本コーナーには、児童書を含む約2,300冊の絵本が配架されています。医療保育科の学生だけでなく幅広い層の人たちに利用されています。

■ 話題作コーナー

図書館は学生の皆さんの学習を支援するための専門書だけでなく、様々な分野の図書を所蔵しています。普段「図書館を利用しない」「読書をしない」という人にも興味を持ってもらおうと、話題作や映画・ドラマの原作本を図書館の入口に展示しています。10月31日まで展示をしていますので、ぜひ一度図書館に足を運んでみてください。

- 原田 マハ『楽園のカンヴァス』
ルソーの名作の真蹟^{しんがん}をめぐる絵画ミステリー。大原美術館も登場します！
- 池井戸 潤『オレたちバブル入組』、『オレたち花のバブル組』
ドラマ「半沢直樹」原作本。やられたら倍返し、熱き男たちの痛快小説。
- 夏川 草介『神様のカルテ』
様々な問題を抱える医療現場で、個性豊かな人々が織りなす命の物語。



■ 学科別貸出ランキング (平成24年度)

看護科

- 1位 根拠がわかる疾患別看護過程 (南江堂・2010)
- 2位 呼吸器疾患ビジュアルブック (学研メディカル秀潤社・2011)
- 3位 緊急度・重症度からみた症状別看護過程+病態関連図 (医学書院・2011)

臨床検査科

- 1位 血液 (病気がみえる v. 5) (Medic Media・2008)
- 2位 いまさら聞けない腹部エコーの基礎 (秀潤社・2003)
- 3位 臨床化学検査学 第3版 (臨床検査学講座) (医歯薬出版・2010)

放射線技術科

- 1位 放射線治療技術の標準 (日本放射線技師会出版会・2007)
- 2位 放射線計測学 改訂4版 (診療放射線技術選書) (南山堂・2002)
- 3位 医療安全のための放射線治療手順マニュアル (日本放射線技師会出版会・2005)

医療介護福祉科

- 1位 イルカがくれた奇跡 (白水社・2006)
- 2位 高齢者施設で人気の12ヶ月のレク・クラフト (QOLサービス・2010)
- 2位 障害をもつということ (障害者福祉シリーズ) (一橋出版・2002)・他2冊

医療保育科

- 1位 3歳児のあそびアイデア集 (チャイルド本社・2007)
- 2位 0・1・2歳児の造形あそび百科 (ひかりのくに・2007)
- 3位 1歳児のあそびアイデア集 (チャイルド本社・2007)

全学の貸出ランキングは川崎医療短期大学HP>マイライブラリ>資料を検索する>カテゴリ検索>川崎医療短期大学>貸出ランキング>最近1年間の図書ランキングとたどっていくと、50位までのランキング (更新されます) が確認できます。カテゴリ検索では、ランキング以外にも新着図書・雑誌の確認等もできますので利用の参考にしてください。

川崎医療短期大学HP 図書館
<http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/campus/01-1.html>

図書館職員から学生におすすめの書籍

本の題名

学生時代にやらなくてもいい20のこと

推薦者

沼本 佳子

■ あらすじと読みどころ

早稲田大学在籍中に『桐島、部活やめるってよ』で作家デビュー、就活生の心情をリアルに描いた『何者』で直木賞を受賞した朝井リョウ氏の初エッセイ。

タイトルから真面目な自己啓発本と思ったら大間違いです。ワイングラス片手にバスローブ姿で100キロハイクに参加したり、花火を見たいがために片道8時間のフェリーの旅を決行したり、後先考えない、若さゆえのノリと勢いが巻き起こす数々のハプニングに、思わず笑わずにはいられません。恥ずかしい失敗談が自虐的に語られているのに、なぜか「なんて充実した大学生活なんだろう」とうらやましく思えてきます。

くだらなくて無意味な「学生時代にしかできないこと」ほど、得がたい貴重な経験だということを教えてくれる一冊です。

学生時代に
やらなくてもいい

20
のこと
朝井リョウ

著者：朝井リョウ
単行本：223ページ
出版社：文藝春秋（2012/6/22）
価格：1,050円（税込）
ISBN：978-4163752501

100万回生きたねこ

佐野洋子 作・絵



著者：佐野洋子 作・絵
単行本：31ページ
出版社：講談社（1977/10/19）
価格：1,470円（税込）
ISBN：978-4061272743

本の題名

100万回生きたねこ

推薦者

難波 美智子

■ あらすじと読みどころ

ある時は王様の猫となり、ある時は船乗りの猫となり…100万回死んで、100万回生きた猫のお話です。主人公の猫は、どの飼い主にも愛され、死を悲しまれますが、どの飼い主のことも大嫌いで、自分のことだけが大好きでした。ある時、野良猫となり、1匹の美しい白猫と出会います。そして、初めて涙を流します。

この表紙に見覚えのある方も多いのでは？短い文章とダイナミックなイラストで描かれた世界には、実に深いテーマが感じられ、読むたびにいろいろと考えさせられます。悲しくもあり、心温まるラストに、大人が読んでも胸を打たれます。読んだことがあるという方も、ぜひ、もう一度じっくり読んでみてください。読み終わった後、何を感じましたか？

教員から学生におすすめの書籍

推薦者

名木田 恵理子



小さい時から「本の虫」でしたが、今でも歴史小説からコミックまで「雑食」傾向の読書を続けています。最近読んだ小説は映画化された『天地明察』（沖方 丁）と発酵のメカニズムを人の生き死にに重ねた『にぎやかな天地』（宮本 輝）、コミックでは「きのう何食べた」という男性同性愛カップルのお話、でもホモに興味があるのではなく「料理本」として重宝しているのです。誤解のないように（笑）。

今回はあえて、皆さんの眼に触れにくい本を紹介します。

本の題名

声生まれる
一聞力・話す力

著者：竹内 敏晴
単行本：206ページ
出版社：中央公論新社（2007/1/25）
価格：740円（税込）
ISBN：978-4121018823



ことばは、コミュニケーションの道具、あるいは方法と考えられていますが、ただ単に意味を伝達する記号ということではなく、「内面の情動を伝える生き物」でもあります。ところが今、eメールやインター

ネットのSNS等の利用が増えて、「ことば

（声）」がその力を失っているのではないかと思います。

若い人の発話を聴いても、声が喉の奥で縮こまり、呼吸が浅く母音が弱いと感じることが多くなってきました。そこで、ここでは、からだの内側から生まれる「自己表現」としてのことば（声）を意識するきっかけになればと思い、この本を紹介します。

著者の竹内 敏晴氏は、少年期をほぼ耳の聞こえない状態で過ごし、戦後、演出家、大学教員を経て、「竹内レッスン」と呼ばれる「ことば（声）」を生み出すワークショップを展開した人です。実は私は、2001年から、氏が亡くなるまでの8年余り、岡山県での「竹内レッスン」の主催者をしていました。当時私は、自分の発することばに違和感を覚えていました。そんなとき竹内氏の「話しかけるということは、こえで相手のからだにふれること、相手とじかに向き合うこと」という一節に出会ったのです。それは、どうやらうまくコミュニケーションできるかというハウツー本とは全く異なる次元の、「ことば（声）」と、それを生む「からだ」についての考察でした。岡山での「竹内レッスン」に

本の題名

癒える力

著者：竹内 敏晴
単行本：181ページ
出版社：晶文社（1999/6/30）
価格：1,575円（税込）
ISBN：978-4794963987



は、教員、看護師、幼児教室や障害者団体を運営している仲間が参加していたのですが、「はなすこと」を仕事にしている我々のことば（声）がいかに相手に届いていないかという体験は衝撃的でした。

竹内氏は『ことばが劈かれるとき』（思想の科学社・1975年、ちくま文庫・1988年）から、死後出版された『出会うということ』（藤原書店・2009年）まで、多数の著作物を残しています。どの本においても、聴力を回復しことばを取り戻すまでの氏自身の体験と「レッスン」でのエピソードが、哲学や思想的な背景とともに重層的に語られています。その中で『声生まれる』は比較的読みやすい内容になっています。また、看護師さん向けに書かれた『癒える力』（晶文社・1999年）もお薦めです。

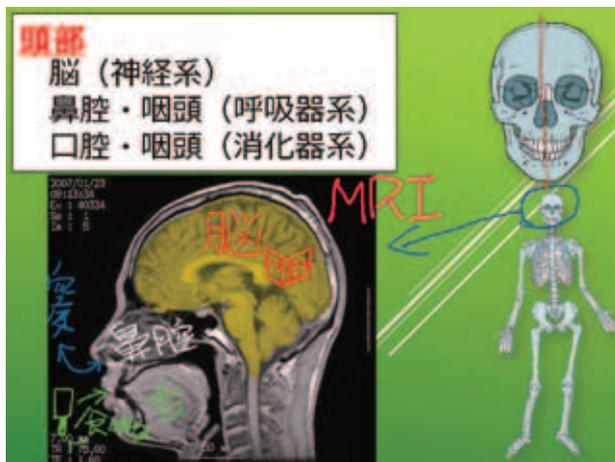
竹内氏は「人は、ことばによって他者と触れ合おうなどとはしていない、礼儀作法や自己防衛の目的のために、感じたことを見せないために、ことばを使っているのではないか、しかし本来、ことばを発するとは、自分という存在そのものの表現であり、相手にじかに触れるためのからだ全体での呼びかけではなかったか」といいます。

自分の発する声は本当に相手に届いているだろうか、自分のからだはコミュニケーションできる状態に、相手に向かって開いているだろうか——。病者、障がい者、子どもと触れ合うことを将来の仕事とする皆さん方には、ぜひ意識していただきたいと思います。病者、障がい者、子どもは、「社会的、通念的、儀礼のことば」から最も遠い存在であり、「じか」に届くことば（声）でなければ触れ合えない存在だからです。

からだの不思議 ～存在する空間と働き～

看護科 講師 熊野 一郎

平成25年6月23日に第2回公開講座（主幹：看護科）が開催されました。講演では、生きるために働く「器官」について、①どのような働きをする器官があるか？②どこに存在するか？という点に着目して知識を整理して説明し、人体の各器官の構造と働きを理解していただくことを目的としました。人体の構造と機能を学ぶ人に向けては、図を描いたり色塗りをすることが知識を身に付けたり理解を深めることに役に立つため、PowerPointのペン機能を利用し画面に書き込みながらお話ししました。



① 人体の器官はどのような働きをするのか？

生きていくために必要な内臓として、消化器系・呼吸器系・泌尿器系・循環器系をまず取り上げます。それぞれ「食べて便を出す」「空気を吸って吐く」「尿を出す」「血液で運ぶ」などすでにご存じのイメージが思い浮かべられると思います。それらの器官をお互いに協調させるために、神経系と内分泌系がそれぞれ「神経」と「ホルモン」を使って働きます。その際には体外からの情報も重要ですから、感覚器系が働きます。

運動器系は体を支持して動かすために働き、直接的な生命維持には働かないと一見思われますが、骨がカルシウムの貯蔵庫として、また筋は筋ポンプの動力として静脈やリンパの流れを作り出すために重要です。このようにして個体としての生命が守られています。

それ以外に種として命を継ぐための器官があります。それが生殖器系です。

② 人体の器官はどこに存在するのか？

体幹は5つの部位、すなわち「頭部」「頸部」「胸部」「腹部」「骨盤部」に区別できます。自分の体を触って

ただければ分かりますが、このうち頸部と腹部以外は骨でしっかり囲まれています。前半で説明した各器官は、この5つの部位に一樣に存在するわけではなく、偏って存在しています。実際に自分のからだでイメージしていただきたいのですが、**頭部**では脳（神経系）が多くの体積を占め鼻腔（呼吸器系）と口腔（消化器系）という空間が存在します。**頸部**では喉頭・気管（呼吸器系）および食道（消化器系）が占めます。**胸部**では肺（呼吸器系）が圧倒的に多くの体積を占め、次に心臓（循環器系）が占めます。食道（消化器系）は残りの後ろ側の隙間を通ります。**腹部**では一転して胃・腸・肝臓などの消化器系が大半を占めます。それ以外に泌尿器系が現れます。**骨盤部**では前に膀胱（泌尿器系）、後に直腸（消化器系）、その間に女性では子宮、男性では精囊や前立腺などの生殖器系が占めます。



③ おわりに

生まれてからずっと使ってきた自分の体の知識は、皆さんがすでに少なからずお持ちですから、「言われてみれば・・・」という手持ちの知識を整理することで理解は深まります。そこに医学的な情報を正しく付け加えることで、健康維持と病気の理解、さらには悪徳健康グッズなどにだまされないための正しい知識の獲得に役立てていただければと思います。

私の好きな○○

vol. 3

—昨年から学内での企画として始まった「私の好きな○○」も第3回目となりました。すべての学科の「文章表現」の講義の中で、「私の好きな○○」というテーマのもと400字のエッセイを書きました。集まった作品から、最優秀作品1点、優秀作品3点を選びました。それぞれの「好き」という思いが言葉に結実し、優れた作品に仕上がっています。



最優秀賞
放射線技術科2年
合田 あゆみ

私の好きな 地元

私は地元愛媛県が好きで、特に西条祭と言われる、だんじりやみこし、太鼓台を神社に奉納する伝統的な秋祭りが好きです。

10月になると金木犀の香りを含みに、市内は祭り一色に染まります。祭りが始まるまで每晚太鼓の練習の音が聞こえ、学校では祭りのカウントダウンが始まり、祭り当日は授業もなくなります。

私も毎年、太鼓台について回ったり、「宮入り」「川入り」を観戦しています。自分の地区の太鼓台について回るだけで楽しく、深夜にも行われるため、深夜に友達と出歩けることにわくわくしていました。祭り最終日に行われる「宮入り」は壮大です。金糸銀糸に飾られた豪華な太鼓台が一式にさし上げられる「かさくらべ」は見事で、西条祭のフィナーレを飾ります。

毎年毎年、本当に素晴らしい西条祭が繰り広げられます。西条祭を知らない方も、ぜひ一度観戦してみてください。

川崎医療短期大学



優秀賞
医療介護福祉科2年
塩見 里紗

私の好きな 読書

活字離れと言われる現代社会ですが、私は本を読むことが好きです。本を読んでいるときは、時間がゆっくり進んでいるように感じます。また、自分の気持ちを落ち着かせることもでき、熱になることができます。

作家の中では、岡山県出身の重松清が好きです。本を読むことが好きになったきっかけの作家です。彼の作品には、いじめの問題や友人・家族関係などについて、現実のリアルな部分が描かれています。そのため、登場人物に共感することや元気をもらうことがしばしばあります。彼の生み出す物語は、ハッピーエンドでもバッドエンドでもありません。「エンド」ではなく、登場人物のそれぞれに「続き」の人生があるように思うのです。

「本当に伝えたいことは伝わる」という一文が『さよしこ』に出てきます。伝えたいことを諦めずに伝え続ける人になりたいと思った一文です。本を通して多くの登場人物の人生に寄り添い、心の糧を得たいと思います。

川崎医療短期大学



優秀賞
臨床検査科2年
近藤 加奈

私の好きな 言葉

「為せば成る」。中学3年の時のクラスの標語であった言葉だ。担任の教師の座右の銘でもあり、クラス団結のきっかけになった言葉でもある。

進級当初、クラス内はさこちなく仲が良くなる気配すらなかった。そのような中、学年行事で行われた課外授業で、クラス対抗の大声コンテストというものに全員強制参加しなければならなくなった。嫌々参加する生徒たちを見て担任は言い放った。「為せば成る！腹から声出せ！」。その大声に背中を押されたように私たちは大声をあげた。結果は優勝だった。それ以来、クラスの雰囲気は変わっていった。修学旅行、体育祭、合唱コンクール、文化祭、すべての行事を楽しく仲良く過ごすことができた。きっとすべては気付かぬうちに標語と化していたあの言葉のおかげなのであろう。

「為せば成る」。この言葉は今でも私の心のうちに標語として掲げられている。

川崎医療短期大学



優秀賞
医療保育科2年
田口 佳奈

私の好きな こと

私の好きなことは、週1回の保育所でのアルバイトです。保育所では、子どもたちと一緒に遊んだり、先生の補助や行事の準備をしたりしています。

保育所では毎日いろいろな発見があり、とても楽しいです。シャボン玉を上手に吹いて飛ばせるようになったり、大きいクラスの子どもが自分より小さい子どもにおもちゃを貸してあげたり。「これは○○だよ」「カブトムシがお昼寝してるね」と子どもたちが教えてくれることもあります。

アルバイトを始めたばかりの頃、保育士さんに「保育士はずっと保育所にいて毎年いろんな子に出会えるけれど、この子たちは今しかここで過ごせないんだよね」と声をかけてもらいました。

子どもたちの一度しかない保育所生活が楽しいものとなるように、子どもたちのつぶやきや発見を見守りながら、一緒に過ごせる時間を大切にしたいと思います。

川崎医療短期大学

くらしき&おかやま

by 写真部

岡山後楽園

写真部は今年度13名の新入部員を迎え、総勢27名となりました。7月の暑い日差しにも負けず、カメラ片手に岡山県を代表する観光地「岡山後楽園」を探索してきました！



岡山後楽園は、江戸時代を代表する大名庭園の一つです。

今から約300年前に岡山藩2代藩主池田綱政が藩主のやすらぎの場として作らせた庭園です。

岡山後楽園では、タンチョウが飼育されています。普段はケージの中で飼育されていますが、1月1日には数羽のタンチョウを放鳥します。新年のおめでたい雰囲気になさわしい優雅な姿を見るために、毎年大勢の人が来園します。



花葉の池

東には花葉の滝があり、南西岸には元禄時代初期に巨岩を九十数個に割って運び、元の形にくみ上げた「大立石」があります。

取材したときはあまり見頃ではありませんでしたが、6～8月頃には白いハスが咲きほこるそうです。



後楽園からは岡山城を見ることができます。岡山城は、外観が黒色で「烏城」とも呼ばれています。後楽園から見る岡山城は絶景です。



園内で結婚式を挙げることもできます。多いときには、1日に何組ものカップルが後楽園で結婚式を挙げるそうです。この日も幸せそうな新郎新婦の姿がありました。赤い打ち掛けが緑に映えて鮮やかでした。皆さんも将来後楽園で結婚式を挙げてみてはどうですか。

◎取材、撮影
 RT 2 成本・中山
 MT 2 小谷・手銭
 NS 1 土井・中條・小坂
 MT 1 神原・松原・内田

海外ボランティア

～カンボジアの孤児院、SCDを訪問して～



看護科3年
友宗 千春
森茂 敏子

平成24年12月、私たちはカレン・アン・スタッフォード先生（英語非常勤講師）のご案内で、カンボジアにあるSCDという孤児院を訪問しました。

この孤児院では、幼児から20歳までの男女約80人が生活しています。多人数ですが、年上の子どもが下の子どもの面倒を見るなど、まるで本当の家族のようで、とても温かく笑顔溢れるところでした。孤児院には男女別の寮や図書室、ブランコやすべり台などの遊具がありました。また、芝生の緑がきれいな空気のおいしいところでもありました。

ここで子どもたちとのコミュニケーションは英語によるものでした。SCDの子どもたちはとても勉強熱心で、ほとんどの子どもたちがクメール語と英語を話すことができます。英語を勉強し始めて2年という少女でさえ、中学、高校、大学と英語を学んだ私たちよりもはるかに英語力があることにとても驚きました。日本には義務教育という制度があり、私た



ちは教育を受ける権利があります。しかし、「どれだけの人が積極的に自ら学びを深めているのだろうか?」と考えさせられました。カンボジアの子どもたちは、勉強したくても全員ができるとは限らないという環境にあります。SCDの子どもたちは、学べることに喜びを感じ、感謝の気持ちを持ちながら、自ら学ぼうとしていました。そして、それぞれにはっきりとした夢があり、目を輝かせながら私たちにその夢を語ってくれました。輝く目がと

ても印象的で、今でも忘れられません。

SCDを訪問し、多くの子どもたちと触れ合ったことで、新たな考え方や、視野が広がり、とても充実した時間を過ごすことができました。また、SCDを支えるスポンサーの方々とも交流でき、異なる価値観を学ぶことができました。カンボジアを訪れて、様々な文化や習慣や人々に触れた時間は、私たちの人生を揺るがすとても貴重な時間となりました。

学内情報ネットワーク管理運用委員会

学内ネットワーク整備 & プロジェクト増設

平成24年度ICT活用推進事業の補助を受けて、平成24年11月から平成25年2月にかけて、既存のネットワーク設備の更新工事と、ほぼすべての教室に天井吊りのプロジェクトとスクリーンを設置する工事を行いました。

本学のネットワーク設備は平成8年に敷設し、以後、必要に応じて学内の各所にLANを増設してきました。昨年は学生寮に無線LANを敷設し、現在、寮を含む学内すべての場所から無線LANを利用できる環境を提供しています。今回は既存の設備の老朽化などの理由から、寮を除くすべての教室・実習室・教

員研究室のネットワーク設備を更新する大きな工事となりました。学内にあるルータやLANなどは最新の機器に変更され、通信速度が向上し、今まで以上にネットワークが利用しやすい環境になりました。

この工事に併せて、学内のネットワークに対応可能なプロジェクトを各教室に設置しました。すでに一部の教室では備え付けのプロジェクトが設備してありましたが、その他の教室では、講義のたびに学生や教員が教務課でプロジェクトを借り出して、持ち運んで設置していました。今回の工事で、学内ほぼすべての教室・実習室に備え付けの天井吊りプロジェクトを設置し、常時利用できる環境になりました。また、従来

設置していたスクリーンも、新しくワイド画面对応のスクリーンに更新し、講義で使用する動画や画像、スライドが鮮明に表示されるようになっています。

本学では全学的に、e-LearningシステムのMoodleや動画e-Learningなどの学習コンテンツの運用、eポートフォリオの導入など、webを利用した学生サービスに取り組んでおり、今回の整備により、更なる教育効果の向上が期待されます。

(重田 崇之)



安全パトロール隊結成

川崎医療短期大学安全パトロール隊の結成は、平成24年10月に行われた第40回市民ふれあいトーク「学生を主役にしたまちづくり」（川崎医療福祉大学にて開催）の際に、本学の学生がこれまでの在学生活を踏まえて、安全・安心な地域づくりには地域と大学の連携が必要と述べたことが発端です。その後、倉敷市と倉敷警察署の協力を得て、生活し学ぶ地域の防犯活動に積極的に取り組もうと平成25年3月に結成されました。隊員は、学友会執行部と学生部担当教職員で構成されています。

実際の防犯パトロール活動を開始するにあたり、去る6月15日に川崎医療短期大学安全パトロール隊出発式を行いました。当日はあいにくの雨でしたが、倉敷市や倉敷警察署の方々、松島町内会長や青パト庄の皆さんなど地域の方々の参加をいただき、教職員を含めて約120名という盛大な出発式になりました。式典では、倉敷市長（代理：市民局長）や倉敷警察署長より励ましの言葉をいただき、放射線技術科2年の山室 結実

隊長が「学生一人ひとりが防犯意識を高め、地域の一員として安全で安心なまちづくりに貢献する」と力強く決意表明をしました。その後、白バイを先頭に警察車両や青パトが防犯パトロールに出発し、最後に安全パトロール隊が参加者に見送られて街頭パトロール活動に出発しました。

パトロールの実施地域は、本学から中庄駅までの松島地区周辺域です。この通学路にあたる地域を、危険な箇所や街頭犯罪の起こりやすい場所はないかなど見回りするとともに、環境美化活動を行います。初めての活動では、細い道が多い割に自転車や車が頻繁に通るため交通事故に留意する必要があることや、水路の水かさが増すと道路との境目がわかりにくいのではないかなどの気づきがありました。また、たばこの吸殻や空き缶などのごみも多数あり、犯罪を寄せつけないまちづくりとして環境美化活動の必要性を感じました。

今後月1回の活動ですが、地域の一員として安全・安心なまちづくりに貢献していきたいと思えます。

（新見 明子）



川崎医療短期大学

創立40周年記念講演会

本学創立40周年記念事業として、倉敷市長 伊東 香織 氏による講演会を開催いたします。

日時 平成25年9月28日（土） 10：00～11：30

演題 「今までの40年、そして“みらい”へ
～川崎医療短期大学に期待すること～」

講師 倉敷市長 伊東 香織 氏

会場 川崎医療短期大学 体育館 メインアリーナ

対象 本学学生・教職員、本学関係者



第39回
川崎学園祭
2013年
10月12日(土)・13日(日)
統一テーマ
「メッセージ」



東日本大震災から2年が過ぎる今、一步そしてまた一步と前に進む中で、もう一度立ち止まり、いろいろなことを考えてみてはどうでしょうか？

今の自分は、あの時思い描いた自分に近づけたのか、これから先の自分はどうありたいのか。その気持ちを、過去の自分・今の自分・未来の自分にメッセージとして伝えてみるのもいいのではないのでしょうか？

そして、病院の方々、地域の方々、学生の皆さんに、学園祭を通じて様々なメッセージ(夢・希望・愛・命・和…)をお送りできたらという思いも込めました。

新任職員紹介

本学の仲間になった職員の方を紹介します。



井上 彩子 庶務課 事務職員

6月1日付の異動で、大学事務局から本学庶務課への配置換えとなりました。

今までとは全く違って、新しいことばかりで戸惑うことも多々ありますが、皆様のサポートがしっかりできるように努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

中庄学区 春季ソフトボール大会優勝

私たちソフトボール部は、平成25年5月26日に行われた中庄学区春季ソフトボール大会で優勝しました。初戦をなんなく勝ち抜いて臨んだ2試合目は、昨年の秋季大会で完敗した相手でした。試合の立ち上がりは不穏な試合運びとなりましたが、いったん私たちのチームに流れが傾くと打線が爆発し、試合が終わってみると圧勝でした。

この試合で勢いに乗り、準決勝と決勝も大差で勝利することができました。今回の春季大会は雨などのハプニングにも見舞われましたが、第60回という記念すべき大会で優勝できたことを大変うれしく思っています。ソフトボール部はこれからも全員で楽しくソフトボールをすることを目標に日々頑張っていきますので、応援よろしくお願いたします。

臨床検査科3年 前田 光秀



地球温暖化対策
ワーキング
グループだより

No.21

川崎エコ プロジェクト

省エネのために 何ができるか!

この夏は連日猛暑日が続き、熱中症で倒れる人が続出しました。このような異常気象は地球温暖化の影響が大きいのでしょうか。川崎学園では、地球温暖化対策推進委員会を設け、CO₂排出の削減、省エネの推進に積極的に取り組んでいます。その一環として、本学でも独自の「地球温暖化防止対策マニュアル」を作成し、教職員・学生一人ひとりができることを実行していくよう呼び掛けています。

平成25年度は、お盆期間中(8月12日～15日)の冷房運転停止、省エネパトロールの実施、夜間・休日・長期休暇中のエレベーター1台運転停止、蛍光灯の間引き消灯、資料等の両面印刷の徹底などの昨年度に続く取り組みに追加して、省エネステッカーやエレベーター用ステッカー(2UP3DOWN[®])の作成配布、本学ホームページへの「地球温暖化防止対策の取り組み」の掲載などを実施することになっています。省エネのために何ができるかを常に念頭に置いて、残りの暑さを乗り切りましょう。

※2階上がった(=2アップ)、3階下った(=3ダウン)する程度であれば、エレベーターではなく階段を利用することによって消費電力の削減を目指したものの。運動不足の解消にもつながる。
(小池 将文)

主要行事 (10月~12月)

| | | |
|-----|-----|--------------------------------|
| 10月 | 9日 | 臨床検査科2年臨床実習開始式 |
| | 11日 | 全学科午後休講 |
| | 12日 | 川崎学園祭 (~13) |
| | // | 第6回オープンキャンパス (~13) |
| | // | 第3回公開講座 |
| | 16日 | 医療保育科3年病児保育コース 病児保育実習 (~31) |
| 11月 | 21日 | 臨床検査科2年臨床(臨地)実習 (~2/13) |
| | 27日 | AO入試後期(学生は校内立入禁止) |
| 12月 | 1日 | AO入試後期合格発表 |
| | 2日 | 看護科継灯式 |
| | 11日 | 医療介護福祉科1年介護実習Ⅱ (~30) |
| | 25日 | 看護科2年基礎看護学実習Ⅱ (~12/20) |
| | 27日 | 医療保育科3年小児病棟保育実習報告会 |
| | 28日 | 医療保育科3年発達障害児保育実習発表会 |
| 12月 | 30日 | 放射線技術科卒業研究発表会 |
| | 1日 | 推薦入試(学生は校内立入禁止) |
| | 2日 | 医療保育科2年保育実習Ⅱ(保育所) (~12) |
| | // | 保育実習Ⅲ(施設) (~13) |
| 12月 | 6日 | 推薦入試合格発表 |
| | 7日 | 臨床検査科研究発表会 |

平成25年度 第3回公開講座

入場無料 (一般の方の参加をお待ちしています)

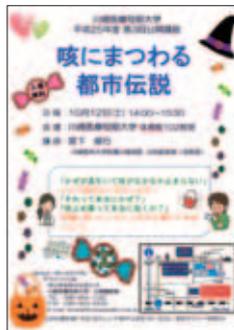
講座名 「咳にまつわる都市伝説」

講師 宮下 修行
川崎医科大学附属川崎病院
内科副部長(准教授)

日時 平成25年10月12日(土)
14:00~15:30

会場 川崎医療短期大学
体育館 102教室

〒701-0194
岡山県倉敷市松島316
川崎医療短期大学 公開講座係
TEL:086-464-1032
FAX:086-463-4339
Eメール: koukai@jc.kawasaki-m.ac.jp



平成26年度 入試日程 (AO入試前期は終了しました)

| 試験区分 学科等 | AO入試後期 | 推薦入試・公募 | 一般入試前期 | | 一般入試後期 | |
|-------------|--|--|--|---|------------|--|
| | | | 必須 「国語総合・現代文」 選択 「数学Ⅰ・数学Ⅱ」 「英語Ⅰ・Ⅱ」 「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 から1科目 | 必須 「国語」 | 必須 「国語」 | 選択 「物理Ⅰ」 「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」から 1科目利用 ※理科を2科目 受験している場合 は点数の高い 科目を利用する |
| 看護科 | | | 必須 「国語総合・現代文」 選択 「数学Ⅰ・数学Ⅱ」 「英語Ⅰ・Ⅱ」 「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 から1科目 | 必須 「国語」 | | 小論文・面接・調査書 |
| 臨床検査科 | | | 看護科に同じ | 必須 「国語」 | | 小論文・面接・調査書 |
| 放射線技術科 | 小論文 面接 調査書 エントリーシート | 小テスト 「国語総合」 「数学Ⅰ」 「英語Ⅰ」 から 1科目選択 面接 調査書 | 必須 「数学Ⅰ・数学Ⅱ」 選択 「英語Ⅰ・Ⅱ」 「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 から1科目 | 必須 「数学Ⅰ・ 数学Ⅱ」 | | 小論文・面接・調査書 |
| 医療介護福祉科 | | | 選択 「国語総合・現代文」 「数学Ⅰ・数学Ⅱ」 「英語Ⅰ・Ⅱ」 「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」 から2科目 | 必須 「国語」 | | 小論文・面接・調査書 |
| 医療保育科 | | | (看護科に同じ) | 必須 「国語」 | | 小論文・面接・調査書 |
| 出願資格 | 大学入学資格を有する者。オープンキャンパスに参加することが望ましい。評定平均及び現役・過年度卒・社会人を問わない。 専願 | 大学入学資格を有する者で出身学校長が推薦する者。評定平均及び現役・過年度卒・社会人を問わない。 専願・併願 | 大学入学資格を有する者。 | 大学入学資格を有する者。 Aは大学入試センター試験の指定科目受験者 ※A・Bのいずれかの選択出願 A:大学入試センター試験利用 B:本学独自問題(小論文) | | |
| 出書書類 | 入学願書 エントリーシート 調査書 その他 | 入学願書 推薦書 調査書 その他 | 入学願書 調査書 その他 | 入学願書 調査書 その他 | | |
| 入学検定料 | 25,000 | | | | | |
| 試験日 | 10/27(日) | 12/1(日) | 2/2(日) | 3/17(月) | | |
| 出期願間 | 10/1(火)~10/18(金) 【消印有効】 | 11/5(火)~11/25(月) 【消印有効】 | 1/7(火)~1/24(金) 【消印有効】 | 2/24(月)~3/8(土) 【消印有効】 | | |
| 合格発表 | 11/1(金) 午前9時 | 12/6(金) 午前9時 | 2/7(金)午前9時 | 3/19(水)午後5時 | | |

編集後記

今年の夏は大変な酷暑となり、連日のように猛暑日が続き、各地で最高気温が記録更新されました。この号の編集はちょうどその夏真っ盛りに行われ、間もなく訪れる秋を心待ちにしながら作業をしました。

特集では、本学で学生が最も利用する施設である図書館の特集と、教職員おすすめの書籍の紹介をしております。ご紹介いただいた書籍は図書館にも所蔵されています。興味を持たれた方はぜひこの機会に図書館に足を運んでいただき、読書の秋を満喫していただければと思います。

今回、私は初めて特集の編集を担当しましたが、一番難しかった作業は写真の撮影です。「若きいのち」に掲載されている写真は、かなりの数を教職員が撮影しています。若輩の私も頑張って撮影に加わりましたが、まだまだ学ぶことが多そうです。

最後になりましたが、ご多用中にもかかわらず、記事の執筆をお引き受けいただいた皆様に深くお礼申し上げます。

(重田 崇之)

川崎医療短期大学広報誌 「若きいのち」(82号)

2013年9月発行

編集発行: 広報誌編集委員会

天野 貴司(放射線技術科・委員長)
河邊 聡子(医療介護福祉科・副委員長)
名木田 恵理子(一般教養)
見尾 久美恵(一般教養)
重田 崇之(一般教養)
影本 妙子(看護科)
衣川 菜美(臨床検査科)
中井 靖(医療保育科)
桑田 俊明(庶務課)
小池 香里(庶務課・書記)

写真協力: 二葉写真館

印刷: 友野印刷株式会社

皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒701-0194 倉敷市松島316

川崎医療短期大学 広報誌編集委員会

電話: 086-464-1032(庶務課)

Eメール: kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ <http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/>